

各 位

2019年3月14日
株式会社インプレス**最新の Excel 2019 と Office 365 の Excel に対応した
「関数」と「VBA」の解説書を3月14日に2冊同時発売**

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、最新のExcel 2019とサブスクリプション（定期購入）版であるOffice 365のExcelに対応した『できるExcel関数 Office 365/2019/2016/2013/2010対応 データ処理の効率アップに役立つ本』『できるExcel マクロ&VBA Office 365/2019/2016/2013/2010対応 作業の効率化&時短に役立つ本』の2冊を2019年3月14日（木）に同時発売します。

**■ Excelによる業務効率化が学べる2冊**

多岐に渡るパソコン入門書を刊行している「できるシリーズ」の中でも、特に人気が高く、タイトル数が多いジャンルが表計算ソフト「Excel」の解説書です。Excelの人気の秘密は、その機能の豊富さにあり、表を作成する以外にも、数値を計算したり、グラフを描画したりといったさまざまな操作が1つのソフトで行えます。

今回刊行する2冊のテーマである「関数」と「マクロ」は、業務の効率化に直結するため、Excelの豊富な機能の中でも特に利用価値の高いものです。「関数」は、複雑な計算や処理の場合分け、日付や文字列の操作などを、簡単にできるようにする機能のことで、「マクロ」はExcel上で行う操作を自動実行するプログラムのことで、定型業務を省力化するのに役立ちます。

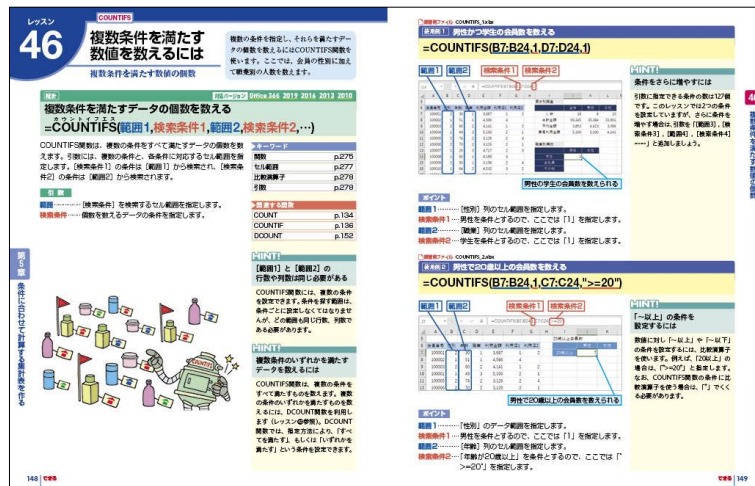
書籍はマイクロソフトが現在サポートしているすべてのバージョンに対応して制作しており、2019年1月にリリースされたExcel 2019と、サブスクリプション（定期購入）版であるOffice 365のExcelもしっかりカバーしているので、幅広い環境で役立てられます。

■『できるExcel関数』の特長

- ・書式の紹介にとどまらない、関数の「運用方法」がしっかり身に付く！

関数を利用するには、関数名や引数を定められた書式で正しく入力する必要があります。しかし、書式を覚えたからといって、関数を十分に使いこなせるようにはなりません。関数を正しく使いこなすには、関数の利用シーンやよくある記述例、ほかの関数との組み合わせなど、関数の「運用方法」とも言うべき知識を身に付ける必要があります。

そのため、本書は関数の「運用方法」にフォーカスし、関数や引数の概要、必要な前提知識、複数の使用例、関連性の高い関数など、関数にまつわる情報をさまざまな角度から紹介しています。



情報量が充実しているから、関数の「運用方法」がしっかり身に付く！

紙面の検索性にも気を配り、通常の目次と索引に加えて、関数のみを引ける索引を2種類掲載しているほか、巻末には関数小事典も掲載しています。

紹介する関数のセレクションにも力を入れており、長年インストラクターとしてExcelの指導にあたってきた著者が、特に実用性が高く、利用価値の高い関数を厳選しています。さらに、Excel 2019で追加されたIFSやCONCATに加え、SORTやUNIQUEといった現在Office Insiderというテスター向けのプログラムでのみ提供されている最新の関数も意欲的に収録しています。すでに関数を業務に取り入れている方が読んでも、新しい発見があることでしょう。

関数索引 (目的順)	
記号・数字	
○欄目に大きい値を求める	LARGE 80
○欄目に小さい値を求める	SMALL 81
○以上1未満の小数の乱数を発生させる	RAND 252
100%確率が予想される (日換性関数)	FORECAST 227
1%の確率が予想される	FORECAST.LINEAR 226
1日間の日数を求める	WORKDAY 170
2つの文字列を比較する	EXACT 206
2つの数値から予測する	TREND 238
2組のデータの相関係数を調べる	CORREL, PEARSON 234
統計 (平均) エラーの機会に指定した値を返す	IFNA 111
統計エラーの機会に指定した値を返す	IFERROR 110
英字を大文字に変換する	UPPER 212
英字を小文字に変換する	LOWER 212
英単語の先頭文字だけが大文字にする	PROPER 213
力	
回帰直線の傾きを求める	SLOPE 237
回帰直線の切片を求める	INTERCEPT 237
開始日から何日後の日曜日数を求める	DATEID 172
基準値の倍で数値を切り上げる (日換性関数)	CEILING 124
基準値の倍で数値を切り上げる	CEILING.MATH 124
基準値の倍で数値を切り捨てる (日換性関数)	FLOOR 125
基準値の倍で数値を切り捨てる	FLOOR.MATH 124
行と列で指定したセルのセル参照を求める	OFFSET 158
今日の日付を求める	TODAY 105
空白セルの数値を返す	COUNTBLANK 135
空間に含まれる文字列の数を調べる	FREQUENCY 144
現在の日付と時刻を求める	NOW 103
検索条件を満たすデータの合計を求める	SUMIFS 150
検索範囲内での検索値の位置を求める	MATCH 82

ソート
=SORT (記列, 並べ替えインデックス, 並べ替え順序, 並べ替え基準)
データを並べ替える

SORT関数は、引数 (範囲) のデータを並べ替えます。引数 (並べ替えインデックス) は並べ替えられた各行、引数 (並べ替え順序) は昇順 (1)、降順 (-1)、引数 (並べ替え基準) は並べ替えられたセルの値 (TRUE/FALSE) を参照します。並べ替えは「並べ替え」を参照してください。並べ替えは実行されますが、その場合データの順序は変わりません。一方SORT関数は、並べ替えられたデータに「並べ替え」の順序を適用することができます。

ユニーク
=UNIQUE (記列, 基準の列, 関数)
1回でも登場する、または1回限り登場するデータを取り出す

UNIQUE関数は、範囲内に重複するデータを取り出すことができます。または1回限り登場するデータを取り出すこともできます。範囲 (範囲) は、範囲 (範囲) の最初のセルから最後のセルまで、空白セルを含む、空白セルを含むデータの範囲 (範囲) を参照します。また1回限り登場する重複した (重複) のデータを返す。このように重複するデータは1回限り登場するデータになります。

引数 (範囲) は、範囲 (範囲) を参照します。引数 (基準の列) は、重複したデータを参照する列 (TRUE) にするのを参照し、引数 (関数) では1回でも登場する (FALSE) か1回も登場しない (TRUE) を参照します。

付録
=UNIQUE (記列, 基準の列, 関数)
1回でも登場するデータを取り出す

紙面の検索性を高めるページが充実 現在ベータ版の最新関数も掲載

■『できるExcel マクロ&VBA』の特長

- ・コード全文解説付きだから、まったく初めてでも大丈夫！

Excelを普段使っているけれど、マクロやVBAは初めてという方は多く見られます。本書はそんな人でも、マクロやVBAの基本から活用方法が自然に身に付くように構成されています。

本書では最初にマクロを使った簡単な自動化に始まり、徐々にVBAを使った自動化プログラミングを解説していきます。プログラミングというと、複雑なアルファベットの羅列で難しい、という印象を受けがちですが、本書では入力するVBAのコードの1行1行に、日本語の解説文を付けています。両者を対比して読めば、まったくの初心者でもVBAのコードの意味を正しく理解できます。

プログラムの内容

```
1 Sub_支払期日設定_2()  
2 Tab With_ActiveSheet  
3 Tab Tab Range("C8").Value_=_Range("G4").Value_+_14  
4 Tab End_With  
5 End_Sub
```

【コード全文解説】

- 1 ここからマクロ [支払期日設定_2] を開始する
- 2 以下の構文の文頭にある「ActiveSheet」を省略する (Withステートメントを開始する)
- 3 (アクティブシートの) セルC8の値に (アクティブシートの) セルG4の値+14を設定する
- 4 Withステートメントを終了する
- 5 マクロを終了する

入力するVBAのコード全文に日本語解説が付いているので、はじめてでも意味が分かる

また、紙面上で解説しているVBAのコードを実際に試して効果を確認できるように、練習用ファイルのダウンロード提供を行っています。成績表や契約件数の一覧表、売上表、名簿、請求書などバラエティに富んだドキュメントが用意されているので、幅広い職種に役立つスキルを身に付けられます。

さらに、第11章ではユーザーフォーム機能を使った入力フォームを作る方法を解説しています。VBAを活用し、入力されたデータをワークシートに転記する方法も解説しているので、実作業にすぐ役立ちます。

47 ユーザーフォーム

47 ユーザーフォームを追加するには

ユーザーフォーム

1 ユーザーフォームを追加する

ダウンロード
[ユーザーフォーム]をExcelで開く
ユーザーフォームを追加する
VBA Project [ユーザーフォーム]を開く
VBA Project [ユーザーフォーム]を開く

2 ユーザーフォームのオブジェクト名を設定する

オブジェクト名を設定する
オブジェクト名を設定する

3 オブジェクト名を入力する

オブジェクト名を入力する
オブジェクト名を入力する

4 [Caption]プロパティを変更する

[Caption]プロパティを変更する
[Caption]プロパティを変更する

Point

完成形をイメージしてから作り始める
ここでは、これから作成するフォームのベースとなるユーザーフォームを作成した。フォームを作成するときは、どのような機能にするか具体的なイメージを考えてから始めるように。イメージがなくても段階的に作ることも可能ですが、フォームの作成を始める前に、どのような機能にするか、イメージを明確にしておくことが、作業がスムーズに進みます。フォームの作成は、イメージを明確にしておくことが、作業のイメージを明確にするために重要です。

実作業にすぐ応用できる入力フォームも紹介

■書誌情報 1



書名：できる Excel 関数 Office 365/2019/2016/2013/2010 対応 データ処理の効率アップに役立つ本

著者：尾崎裕子&できるシリーズ編集部

価格：本体1,580円＋税

電子版価格：1,580円＋税※インプレス直販価格

発売日：2019年3月14日（木）

ページ数：288ページ

ISBN：978-4-295-00586-5

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/429500586X/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1118101139>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500586.jpg>

◇目次

- 第1章 関数の基本
- 第2章 基本関数でできる集計表を作る
- 第3章 順位やランクを付ける評価表を作る
- 第4章 入力ミスのない定型書類を作る
- 第5章 条件に合わせて計算する集計表を作る
- 第6章 日付や時刻を扱う管理表を作る
- 第7章 文字を整えて一覧表を作る
- 第8章 データを分析・予測する表を作る
- 第9章 いろいろ使える関数小ワザ

■著者プロフィール

尾崎裕子（おざき ゆうこ）

プログラマーの経験を経て、コンピューター関連のインストラクターとなる。企業におけるコンピューター研修指導、資格取得指導、汎用システムのマニュアル作成などにも携わる。現在はコンピューター関連の雑誌や書籍の執筆を中心に活動中。主な著書に『テキパキこなす！ゼットイ定時に帰る エクセルの時短テク121』（共著：インプレス）、『今すぐ使えるかんたんEx Excel文書作成[決定版]プロ技セレクション [Excel 2016/2013/2010対応版]』（技術評論社）、『Excel 5000万人の入門BOOK』（共著：宝島社）、『会社でExcelを使うということ。』（共著：SBクリエイティブ）などがある。

■書誌情報 2



書名：できる Excel マクロ&VBA Office 365/2019/2016/2013/2010 対応 作業の効率化&時短に役立つ本

著者：小舘由典&できるシリーズ編集部

価格：本体1,800円＋税

電子版価格：1,800円＋税※インプレス直販価格

発売日：2019年3月14日（木）

ページ数：336ページ

ISBN：978-4-295-00587-2

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295005878/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1118101148>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500587.jpg>

◇目次

- 第1章 マクロを始める
- 第2章 グラフの作成と印刷を自動化する
- 第3章 相対参照を使ったマクロを記録する
- 第4章 VBAの基本を知る
- 第5章 VBAを使ってセルの内容を操作する
- 第6章 VBAのコードを見やすく整える
- 第7章 同じ処理を繰り返し実行する
- 第8章 条件を指定して実行する処理を変える
- 第9章 ワークシートとブックを操作する
- 第10章 もっとマクロを使いこなす
- 第11章 マクロでフォームを活用する

■著者プロフィール

小舘由典（こたて よしのり）

株式会社イワイ システム開発部に所属。ExcelやAccessを使ったパソコン向けの業務アプリケーション開発から、UNIX系データベース構築まで幅広く手がける。できるシリーズのExcel関連書籍を長年執筆している。表計算ソフトとの出会いは、1983年にExcelの元祖となるMultiplanに触れたとき。以来Excelとは、1985年発売のMac用初代Excelから現在までの付き合い。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：pr-info@impress.co.jp URL：<https://www.impress.co.jp/>